



被爆80周年

Piece of Peace  
平和のかげら

# 広島交響楽団

## 第455回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 455th Subscription Concert

細川俊夫

### 《森のなかで》

室内オーケストラのための(日本初演)

Toshio Hosokawa: In the Forest for Chamber Orchestra (Japan Premiere)

ドヴォルザーク

### チェロ協奏曲 短調作品104

Dvořák: Violoncello Concerto in B minor Op.104

マルティヌー

### 交響曲第5番 H.310

Martini: Symphony No.5 H.310

コンサートマスター:蔵川瑠美

Concertmaster: Rumi Kurakawa

### 望郷と記憶の果てに

広響の2019「平和のタペ」に客演し、卓越した最上級の演奏で聴衆を魅了したスティーヴン・イッサーリスが広響定期に初登場。同じアルミンクとのコンビで、チェロ協奏曲の金字塔であるドヴォルザークを奏でる。広響コンポーザー・イン・レジデンス細川俊夫の「森のなかで」(日本初演)をはじめとする今回の全プログラムに共通するテーマは帰郷や記憶であり、故郷への思いが懐かしい自然の情景に重ねて蘇る。そして、前任の下野竜也がディスカバリー・シリーズで取り上げたマルティヌーの交響曲が、今回の「第5番」の演奏で全曲補完されるのも嬉しい限りだ。

2025.10.24(金) 18:45開演  
[17:45開場]

Friday October 24, 2025 Start 18:45 [Open 17:45]

広島文化学園HBGホール 広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

チケット(税込/全席指定)

S席5,800円・A席5,200円・B席4,500円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/2025年8月25日(月)

プレイガイド/広響事務局、ローソンチケット(Lコード:63323)、チケットぴあ(Pコード:289-294)

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成/



文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))  
| 独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人 合人社財団

プレミアム協賛/



合人社グループ

後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、ちゅびCOM、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。  
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。  
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お申し込み・お問い合わせ

広響事務局 TEL:082-532-3080 <http://hirokuyo.or.jp>

広響公式HP



指揮 クリスティアン・アルミンク

Conductor: Christian Arming

©Shumpei Ohsugi

チェロ スティーヴン・イッサーリス

Violoncello: Steven Isserlis

©Satoshi Aoyagi



# 第455回定期演奏会



被爆80周年

Piece of Peace  
平和のかけら

Hiroshima Symphony Orchestra The 455th Subscription Concert

## 指揮 クリスティアン・アルミンク

Conductor: Christian Arming

ウィーン生まれ。レオボルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年から広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年に同団の音楽監督に就任した。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマンド管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年に小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演、2024年に東京二期会オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》全6公演を指揮し、岡山公演では広響と共に演奏した。

レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲二短調などで高い評価を得ている。2025年4月には、広響音楽監督就任披露公演で取り上げたR.シュトラウス／アルプス交響曲のライブ録音をリリースした。



©Shumpei Ohsugi



©Kevin Davis

## チェロ スティーヴン・イッサーリス

Violoncello: Steven Isserlis

イギリス生まれ。現代最高のチェリストの一人として、世界最高峰のオーケストラや指揮者と共演、主要な音楽祭やホールに出演している。HIP（歴史的な奏法）にも強い関心を寄せると同時に現代音楽にも熱心で、数々の新作の初演を任されてきた。

レコーディングも数多く、『バッハ：無伴奏チェロ組曲全曲』やベートーヴェンのチェロとピアノのための作品全集、ハイドン、エルガー、ウォルトンなどの協奏曲などをリリースし、それらは数々の国際的な賞に輝いている。

若い聴衆のための活動にも熱心で、執筆した書は多くの言語に翻訳されている。2022年には『音楽に本気なきみへ イッサーリスと読むシューマンの助言』が音楽之友社から出版された。最新刊は、『The Bach Cello Suites』。また、言葉と音楽による企画やラジオ番組も手掛けるなど活動は幅広い。

主な使用楽器は、英国王立音楽アカデミーから貸与された1726年製のストラディヴァリウス「マルキ・ド・コルブロン」。ガット弦を使用している。

クリスティアン・アルミンクと公私にわたる親交があり、広島交響楽団とは2019年の「平和のタベ」コンサートに続き2度目の共演となる。

## 次回予告 第456回定期演奏会

2025.11.22(土) 15:00開演  
[14:00開場] 広島文化学園HBGホール

シューマン：ヴァイオリン協奏曲二短調

フランツ・シュミット：交響曲第4番ハ長調



©Marco Borggreve

指揮  
ハンヌ・リントゥ



©Laura Stevens

ヴァイオリン  
庄司紗矢香



2025年度

中期定期会員募集のご案内

9月～11月の定期  
全3回

S席 14,000円 A席 12,500円 B席 10,800円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(受付期間2025年4月14日～2025年9月19日)